

# 平成 30 年度 事業報告書

## I. 事業団事務局（本部）

### 1. 理事会及び評議員会等の開催状況

理事会は 4 回、評議員会は 1 回開催され、平成 29 年度決算の認定、平成 30 年度補正予算、平成 31 年度事業計画、予算の承認、理事の選任について承認された。

#### (1) 平成 30 年度第 1 回理事会

- ・ 開催期日 平成 29 年 4 月 1 日(日) 11 時～11 時 10 分
- ・ 場 所 敦賀市立やまびこ園
- ・ 決議事項 ①理事長選任の件

#### (2) 監事監査

- ・ 開催期日 平成 30 年 5 月 18 日(金) 10 時 00 分～12 時 00 分
- ・ 場 所 事業団本部
- ・ 監査内容 ①平成 29 年度理事の業務執行状況について  
②平成 29 年度財産状況について

#### (3) 平成 30 年度第 2 回理事会

- ・ 開催期日 平成 30 年 5 月 30 日(水) 13 時 30 分～15 時
- ・ 場 所 敦賀市立やまびこ園
- ・ 決議事項 ①平成 29 年度事業報告及び決算(計算関係書類及び財産目録)の承認について  
②定款の一部改正について  
③定時評議員会の招集について  
④平成 29 年度事業報告及び決算(計算関係書類及び財産目録)の承認について  
⑤定款の一部改正について
- ・ 報告事項 ①理事長の職務執行状況について  
②社会福祉充実計画(残額)について

#### (4) 平成 30 年度第 3 回理事会

- ・ 開催期日 平成 30 年 11 月 19 日(月) 10 時～10 時 50 分
- ・ 場 所 敦賀市立やまびこ園
- ・ 決議事項 ①新規事業展開について

#### (5) 平成 30 年度第 4 回理事会

- ・ 開催期日 平成 31 年 3 月 28 日(水) 9 時 30 分～10 時 35 分
- ・ 場 所 ワークサポート陽だまり
- ・ 決議事項 ①新規事業展開に伴う施設建設費用の件  
②平成 30 年度収支補正予算の件  
③平成 31 年度事業計画の件  
④平成 31 年度収支予算の件  
⑤施設長任命につき議決を求める件  
⑥常務理事選任の件

- ・ 報告事項 ①理事長の職務執行状況について
- (6)平成 30 年度定時評議員会
  - ・ 開催期日 平成 30 年 6 月 14 日(木) 13 時 30 分～14 時 50 分
  - ・ 場 所 敦賀市立やまびこ園
  - ・ 決議事項 ①平成 29 年度事業報告及び決算(計算関係書類及び財産目録)の承認について
  - ②定款の一部改正について
- ・ 報告事項 ①理事長の職務執行状況について
- ②社会福祉充実計画(残額)について

## 2. 職員の状況

平成 30 年度における職員の採用状況は、障がい福祉事業部門の支援員等については、新規事業展開のことも含めて採用活動を行い、正規職員 4 名及び臨時職員 2 名を内定した。また、パートタイム職員のフルタイム移行を推奨し、パート職員 2 名が臨時職員に転換した。

保育園においては、職員配置基準を踏まえ、臨時保育士として 1 名を内定を通知したが、採用にまでは至らなかった。その後の補充については、短時間勤務者(パート職員)を採用し配置した。

(内訳)

(平成 31 年 3 月末現在)

| 区 分                 | 職員数      | 備考                      |
|---------------------|----------|-------------------------|
| 事業団本部事務局            | 6 名      | 理事長、事務局長(兼)他            |
| 敦賀市立やまびこ園           | 31(11)名  | 園長、園長補佐、サビ管、支援員、栄養士、看護師 |
| ワークサポート陽だまり         | 13(3)名   | 所長、所長補佐、サビ管、支援員         |
| 敦賀市障害者地域生活支援センターこだま | 6 名      | センター長、相談支援専門員、生活支援員     |
| 嶺南障害者就業・生活支援センターひびき | 5 名      | センター長、就業支援員             |
| グループホーム桜ヶ丘・新和       | 2 名      | 世話人(委託 6 名)             |
| 松原保育園               | 26(9)名   | 園長、主任保育士、保育士、栄養士、看護師    |
| 木崎保育園               | 22(7)名   | 園長、主任保育士、保育士            |
| 金山保育園               | 21(6)名   | 園長、主任保育士、保育士、看護師        |
| 敦賀市自立促進支援センター       | 3 名      | 主任相談支援員、相談支援員、就労支援員     |
| 合 計                 | 135(36)名 |                         |
| 平均年齢                | 41.2 歳   |                         |

(注) ( ) 内はパート職員の内数

## 3. 財務の状況について

平成 29 年度からの社会福祉法人の制度改革を受けて、昨年度に引き続き、内部留保とならぬよう資産等への組み入れ(黒字収支)を考慮することなく、施設の整備等を心掛け予算執行を行った。そのため資産の組み入れ(積立)は行っていない。

障がい福祉部門においては、やまびこ園において、収入において約 700 万円の増収を計上したことで、指定管理料を一部返還することとなった。グループホームにおいては、一部宿直業務を追加したものの、桜ヶ丘・新和ともに、収支においても問題なく運営を行うことができた。

一方、保育園についても、バランスのとれた収支で運営を行ってきたが、年度末に市からの補助金の採択を受けたことで、結果 3 園ともに黒字収支となった。(詳細は決算書のとおり)

## Ⅱ. 障害福祉サービス等事業

### 1. 敦賀市立やまびこ園

敦賀市立やまびこ園では、例年同様他県や他市町からの入所受け入れに関する問い合わせがあり、県外、市内外問わず待機者がいる状況である。また、生活介護においては、高等部卒業生などの利用希望者があり、障害者支援施設として求められる役割が大きい状況が続いている。

生活介護事業の日中活動については、高齢利用者と若年利用者が安全に活動できる内容や環境を模索し続けた。施設入所支援事業においては、利用者の高齢化に伴い身体面・認知面双方において重度化している状況であり、それらに対応すべく、環境面とソフト面の双方においての整備を継続した。

生活介護事業における日中活動の見直しと施設入所支援事業における重度化と高齢化への対応に関しては、ここ数年かけて継続していく課題となる。

#### 1. 施設の概要

|         |                  |          |  |
|---------|------------------|----------|--|
| (1) 名称  | 敦賀市立やまびこ園        |          |  |
| (2) 種類  | 指定障害者支援施設        |          |  |
| (3) 所在地 | 敦賀市長谷 47 号 21 番地 |          |  |
| (4) 定員  | 生活介護             | 50 名     |  |
|         | 施設入所支援           | 30 名     |  |
|         | 短期入所             | 4 名      |  |
|         | 日中一時支援           | 4 名 (原則) |  |

#### 2. 利用状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

##### 【延利用者数】

|      | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月  | 10月   | 11月   | 12月 | 1月  | 2月  | 3月    | 計      |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|--------|
| 生活介護 | 1,000 | 1,028 | 1,051 | 1,018 | 1,053 | 875 | 1,109 | 1,027 | 949 | 886 | 945 | 1,005 | 11,946 |
| 施設入所 | 862   | 874   | 869   | 870   | 853   | 834 | 901   | 871   | 882 | 856 | 805 | 897   | 10,374 |
| 短期入所 | 89    | 92    | 90    | 107   | 88    | 85  | 71    | 57    | 58  | 22  | 50  | 92    | 901    |

##### 【障害別】

| 区分   | 1 | 2 | 3  | 4  | 5  | 6  | 計  |
|------|---|---|----|----|----|----|----|
| 生活介護 | 0 | 1 | 10 | 18 | 13 | 13 | 55 |
| 施設入所 | 0 | 0 | 3  | 10 | 6  | 11 | 30 |

##### 【年齢別】

| 区別   | 18～29 |   | 30～39 |   | 40～49 |   | 50～59 |   | 60～69 |   | 70以上 |   | 合計 |    |    | 平均年齢 |    |    |
|------|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|------|---|----|----|----|------|----|----|
|      | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男    | 女 | 男  | 女  | 計  | 男    | 女  | 計  |
| 生活介護 | 9     | 2 | 6     | 4 | 8     | 8 | 1     | 0 | 7     | 5 | 1    | 4 | 32 | 23 | 55 | 43   | 51 | 46 |
| 施設入所 | 2     | 2 | 1     | 0 | 6     | 4 | 0     | 0 | 6     | 4 | 1    | 4 | 16 | 14 | 30 | 51   | 57 | 54 |

##### 【短期入所】 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

| 区 分 | 利用人数 | 利用回数 | 総算定日数 |
|-----|------|------|-------|
| 宿泊  | 26名  | 319回 | 901日  |

【日中一時】（平成30年4月～平成31年3月）

| 区 分        | 利用回数   | 利用人数 |
|------------|--------|------|
| 4時間未満      | 1,395回 | 29名  |
| 4時間以上8時間未満 | 466回   |      |
| 8時間以上      | 152回   |      |

### 3. 施設の運営

「生活介護事業」「施設入所支援事業」「短期入所」「日中一時」の4つの事業を実施する中で、今年度は「施設入所支援事業」と「短期入所」「生活介護事業」のニーズが高かった。

生活介護事業においては、昨年度の支援学校卒業生の2名について平日全日利用への変更を行った。また今年度は2名の利用希望があり、そのうち1名は高等部卒業後の利用を希望されていたが、1対1の対応が必要な利用者であったため、人員不足などの理由から利用に至っていない。もう1名は、日中一時利用をされている方で個別対応が不要であったため利用開始している。このように、人員不足や利用者像によって利用の可否が異なる状況であった。

施設入所支援事業に関しても、入所に関する問い合わせが多かったが、定員に達しているため入所待機を希望する方も数名出ている。現在は県外1名、県内7名の計8名が入所待機をしている状況となっている。入所待機をする状態ではないものの、現在通所で生活介護を利用している家族からの問い合わせも多くなってきている。また、施設入所支援における利用者状況については、8月に1名が死去で退所となり、10月に長期で短期入所を利用していた方が入所支援を利用することになり、実利用数は30名となっている。

「短期入所」「日中一時」に関しては、利用希望が増えている状況に変わりはない。「短期入所」においては、家庭の事情やレスパイトとして定期的に利用されている方も多く、また緊急的に家族の入院や冠婚葬祭などを理由とする利用もあった。2月には敦賀市地域福祉課からの依頼により虐待ケースを緊急的に3月半ばまで受け入れをし、その後も継続的に利用をしている。

「日中一時」においては、土日は、5名～8名程度、平日は、5名～7名程度の利用があり、日中サービスを利用する前後に日中一時を利用する方が増えている状況が続いている。

職員の研修については、県内研修では、今年度異動した職員に対しては福井県知的障害者福祉協会職員研修に参加した。また、県社協主催のキャリアパス研修、苦情解決セミナー、防災研修などの研修に参加した。強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）は業務上不可欠な研修であるため、基礎研修に3名、実践研修に1名が参加した。

園内研修としては、毎月実施している各委員会（高齢委員会・自閉委員会）の学習内容と活動報告を公表した。また通年実施している救急対応訓練（心肺蘇生法）、不審者対応訓練を実施した。

職員の育成として、今年度も“根拠に基づいた支援”を目標に掲げ、自閉委員会では応用行動分析の学習会とその知識を実際の支援に導入し検証する活動、高齢委員会では知的障害者の高齢化に関する知識習得と嚥下機能や筋力を維持するための取り組みについて実践をした。今後も、経験則ではなく根拠に基づいた支援が提供できるように、学習会で得た知識を現場支援や対応に繋げられる内容を継続していきたい。また、夜勤対応のベースを統一できるように夜勤会議を1回実施し、確実に必要な対応や支援について共有と理解を図った。

#### (ア) 支援内容

生活介護事業において「やまびこ園に来ること」に喜びや意欲を感じられる活動内容を目指した。自閉症などの障がい特性において、毎日同じ活動があることで安心につながることから、作業活動は毎日実施した。外作業場への移動が難しい利用者に対しては、園内でウエス作業に従事